# 第8回新潟県青年海外派遣に参加して

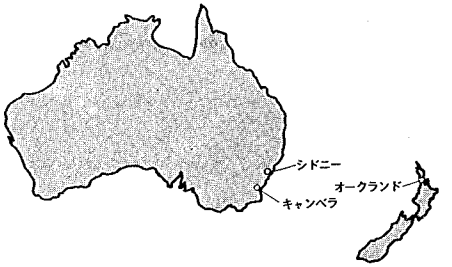
## 活発なボランティア活動

### ―ニュージーランド、オーストラリアの社会福祉―

昨年の10月、ニュージーランド、オーストラリアを訪問した「新潟県青年海外派遣団」に当市から小林幸一さん(程島)が参加されました。今号は、この感想文を小林さんから特別に寄稿していただきました。ご紹介します。

小林　幸一さん
(程島)

訪問先




私は、第八回新潟県青年海外派遣団員の一人として、他の県内二十四人の団員とともに、十月十九日から三十日までの十二日間、ニュージーランド、オーストラリアの二か国を訪問してきました。そこで、向こうでの感想を述べてみたいと思います。

今回の団員は、訪問国の特殊性を生かして、文化青年、社会福祉、農業牧畜の三班に分けられ、私は社会福祉班でした。

最初に訪問したのは、ニュージーランド最大の都市オークランドです。ニュージーランド最大といっても人口は七十八万人ですから、その規模が想像できると思います。到着して感じた第一印象は「田舎だなあ」ということでした。羽田の人混みからは想像もできない程閑散としていますし、走っている車をみればあまり上等とはいえず、行きかう人びとの服装も私の目には質素に映りました。

これはこの国が酪農国で、工業が盛んでないためもありますが、物を大切にし、よく手入れして使えるだけ使うという姿勢が習慣となっているようです。日本は物量が豊富です。それはそれとして幸せなことだと思いますが、使い捨てにまで進みつつある現在に疑問をおぼえました。

オークランドでは、時どき裸足で歩いている子どもに会いました。もちろん子どもの健康のためですが、この背景には、道路がよく整備され、公園は芝生、各家庭も玄関まで舗装、あるいは芝生というような恵まれた環境があるようです。

同じオークランドで一日だけ班別行動日があり、私のグループは精神薄弱児（者）施設を訪れました。住宅地の中に、それと説明されなければ見過ごしてしまいそうな形で施設があります。年間経費約七千万円のうち九六%が寄付金とのことで、一般の理解と協力が得られているようです。

ニュージーランドでの最終日にショッピングを楽しみましたが、みやげ物店で伝統工芸品等をみて思ったのは、日本人の器用さと、美的、色彩的感覚のよさです。日本にいてはわかりませんが、外国へ行って比較対照してみると、実感としてよくわかります。

ここで私たちはオークランドをあとにして、オーストラリアの首都キャンベラへ向かいました。この街は設計図から作られた計画都市のため、日本では想像できない程美しく、機能的な街です。ところが一般の評価は、あまりにも整いすぎていておもしろ味がないとのことで、人間の感覚の複雑さというか、いいかげんさを考えさせられました。

二十六日朝、キャンベラをあとにして、最終目的地シドニーへと向かいました。シドニーまで来るとさすがに大都会の貫ろくがありますが、おもしろいことに、街が大きくなるに従ってゴミゴミした雑な印象を受けるのです。美しい所もありますが、よく見れば……という雰囲気で、東京にあい通じるものを感じました。

シドニーでは森林消防隊や海難救助隊等のボランティア活動を訪問しましたが、いずれも高度に組織化され、社会機能の一部にまでなっているようです。訪問した各グループは、いずれも自分たちの施設を持ち、設備費、維持費等に政府、地方自治体などから資金援助を受けるまでになっており、もはや日本におけるボランティア活動の現状とは次元が違うようです。

しかも、活動に参加するボランティアたちが、地域に奉仕する喜びと誇りをもっています。そして、これらのボランティアたちをバックアップする社会的理解も感じられました。

わがまちの活動も、いずれはこのような状態に成長するものと考えますし、自分なりの努力をしていきたいと考える次第です。

お買物、ご用命は市内で

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ すき焼 箱岩
新津市本町3　TEL(2)4516

メガネのことならご相談下さい
Nikon ニコンメガネレンズ
―にいつメガネセンター―
野本時計店 眼鏡部
本町3丁目 TEL 2―0070



## 遺跡点描 新津城跡 (1)

今からおよそ740年前、このあたりに新津城が築かれました

私たちの郷土新津には、先人たちの活動をいまに伝えるいくつかの貴重な遺跡が散在しています。市教育委員会では、さきごろこのうちの四か所に標柱を建立して、遺跡の地であることを明示しました。

ふだん見過ごしがちなこれら遺跡に光りを当て、四回にわたり、順次紹介することにしました。これを機会に現地を尋ねられ、往時をしのぶ手がかりにしていただければ幸いです。

### 新津城跡

新津城跡は山谷町二丁目にあって、現在新津自動車学校の敷地になっています。新津城の築城年代はあきらかではありませんが、大体鎌倉初期の天福元年（一二三三）ころと考えられています。このことは七百四十年もの昔、すでに新津は武将が居を占めるに足る軍事的な要地であったことを物語っています。初代の城主越前守信資は、金津の金津氏から分かれて山谷に居城を構え、新津氏を名乗りました。これから以後、新津城は十六代三百六十年間、新津氏代だいの本拠となりました

そして慶長三年（一五九八）、十六代丹波守秀祐のとき、上杉景勝に従って会津に移り、ついで米沢に転住して新津城は自然と廃城になりました。「北越雑記」には、新津城跡のようすを次のように記しています。

新津丹波守居館跡は福王寺の並にして彼寺より西なり。前用水堀の下江、夫にならひて往還あり。この往還より北の方なり。往還は大方家立続けり。往還より北へ二・三百間程踏込めば丹波守居館跡土手あり。凡東西五十間程なり。此上は高萱生茂り北は田也。此田元堀なる故今に深しといふ。此処を楯の腰といふ。

此辺りに人家の後の方に古井戸あり。これ新津家の膳井といふつたふ。今は埋りて少しく窪あり。此古井の側に十二社権現の小祠あり。又居館続き往還の側に八幡宮の小祠あり。又往還より北に囲の中に古墓所あり。石碑漫滅して誰なりを不知。丹波守家の子の墓所なるべしと土俗いへり。

また、徳川中期の新潟の画家呉浚明（五十嵐穆翁ともいう）は、画人の目でるどくとらえた新津城跡の情景を次のような詩に残しています。

新津古墨

残墨何如処　測々禾黍生
廃興失旧記　可憐異代名

こうして荒廃に帰した城跡も、時と共に様相を変え、いまは自動車学校の練習路が縦横に交差する中を、現代に生きる若者たちが今日も真剣なまなざしでハンドルを握り、練習にはげんでいます。

（市立記念図書館）

## 20歳になったら国民年金へ

### 若いあなたを待ってます

一月十五日は〝成人の日〟。二十歳になると、その日から一人前の大人として多くの権利が与えられ、義務が課せられますが、「年金」に加入することもその一つです。

わが国では、だれもが必ずいずれかの年金制度に加入する「国民皆年金」の仕組みがとられています。そしてあなたが、会社や工場、あるいは官庁などに勤めていなければ、国民年金に加入することになります。

国民年金に加入しますと、老後の所得保障としての老齢年金ばかりでなく、障害年金や母子年金など、まさかのときの保障も行われます。また、国民年金に加入してから会社や工場などに就職することもあるでしょう。そのようなときでも、国民年金を支給する「通算年金」の仕組みもとられています。

ところで、国民年金というものは、他の公的年金制度がそうであるように、だれにも訪れる老後を社会全体で支えていこうというものですから、若いみなさんの理解と協力がなければ、この制度は成り立っていきません。若い人にとって老後は、はるかに遠い未来のことでしょう。しかし、家族に両親やお年寄りはおられないでしょうか。それらの人の老後の生活、扶養の問題などを考え合わせれば、若いみなさんにも年金が身近かなものとして理解していただけるものと思います。

二十歳を迎えた記念すべき日に、年金手帳（国民年金に加入した証）を前にして、将来の生活設計を考えてみることも意義あることではないでしょうか。

お買物、ご用命は市内で

全国菓子大博覧会有功大賞受賞!!
秋葉山・平和塔最中・祝儀・仏式・お菓子
ふるまち 羽八
新津市本町一丁目　農協前　TEL (2) 0462

住宅　どんな御相談でもお気軽に
羽田建築　TEL(2)6163
新津市金沢町2丁目　設計、施工、監理